

平成 24 年 10 月 31 日

松山市長 野志 克仁 様

松山市総合計画審議会

会長 矢田部 龍一

第 6 次松山市総合計画に関する意見集

「第 6 次松山市総合計画に関する意見集」は、審議過程において、各委員から出された意見や提案を取りまとめたものであり、計画のあり方や推進に関わる意見から個別の施策・事業に関する提案・アイデアに至るまで、多岐にわたる内容となっています。

これから策定を進める「第 6 次松山市総合計画 基本構想」に基づいて、施策体系やその具体的な取組を掲載する「基本計画」や、具体的な事業を明らかにする「実施計画」を策定することとなっていますが、こうした計画の策定及び事業実施にあたっては、本意見集を活用いただきますよう希望いたします。

【意見一覧】

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
全体	あらゆる世代や立場の人が 気兼ねなく集える拠点づく り	日頃から人と人とのつながりができる環境を整備するため、子どもと家庭、高齢者、障がい者、地域住民が気兼ねなく集える拠点づくりが含まれるとよい。各基本目標ごとでも、基本目標全体を通じてでもよい。
1 健やかで優しさの あるまち	マイナス表現が目立つ	行政にとっては非常に困った問題であると思うが、前向きなビジョンを示そうというなかで、「救急車の適正使用に向けた受診行動の促進」や、「救急病院の安易な利用を抑制する」という表現が目立つ。 また、「未婚化、晩婚化、非婚化の対策」とあるが、「対策」という表現は、晩婚化や未婚化、非婚化がいけないことであるという前提があるように感じられる。
11 地域全体で子育て を支える社会をつくる	子どもの健やかな成長を一 連の流れとして把握	「子どもの健やかな成長の促進」については、一連の流れの中で考えていくことが重要。例えば、虐待については、青少年センターでの活動や児童相談所等との関わりが、健やかに育てるための予防であるため、今後表現を具体化する際に近づけていながら、流れとして表現できれば理解しやすい。
11 地域全体で子育て を支える社会をつくる 12 暮らしを支える福祉 を充実する	世代間交流	子育て系(11)と高齢者系(12)とは体系や目標は別にされがちだが、世代間交流がないことが現状の少子高齢化問題の一つである。子ども、若年者、子育て世代、高齢者など、育った時代の背景が全く違う世代間の交流の機会を提供するなどの取組があればと思う。
1213 高齢者の生きが いづくり	高齢者の社会参加	高齢者の方は、自分から出てきてくれる人はよいが、引きこもって声をかけることも嫌がる人もいるということが、課題として認識されている。
1322 生活困窮者対 策	貧困の連鎖の防止	「1321 生活困窮者対策の推進」のところで、取組の柱で最近のニュースでもいうように、貧困の連鎖が問題となっている。ただ、不正受給問題もあるので、見極めも重要。そして、仕事が見つからずという人も多いため、雇用促進をし、窓口など設けるなどの充実したサポート対策も追加してはどうか。
1111 子育て支援の 充実	子どもをもつ若い世代への 優遇措置	20代で結婚し、子どもを産んだ夫婦の税金を軽減するなどの仕組みづくりが必要ではないか。条件を満たした人にカードを配り、提示すれば消費税分を割引(消費税を免除)するなど。
1111 子育て支援の 充実	子育てに関する課題を抱 える家庭や青少年の自殺 への対応	「子育てに関する課題を抱える家庭へのきめ細かな対応」では方向性が2つ示されているが、内容が重複している。
1111 子育て支援の 充実	子育てに関する課題を抱 える家庭や青少年の自殺 への対応	ここでは取り上げられていないが、いじめによる青少年の自殺は全国的に深刻な問題であり、その対策も教育機関と協力しつつ取り組むべきではないか。
1111 子育て支援の 充実	取組の柱のレベル感・表現 について	取組の柱:子どもの健やかな成長の促進 中項目に立ててもよいような抽象度で、他の項目とバランスが取れていない。 「健康管理の推進」はどうか。
1111 子育て支援の 充実	父子家庭と母子家庭への 同等の配慮が必要	取組の柱:ひとり親家庭の自立支援の推進 松山市の某調査にて、母子と父子の扱いが違いすぎるという報告あり。父子のほうが母数は少ないが、状況はひどい。母子だけを想定しないほうがいい。
1121 出会いからの環 境整備	「カップルの聖地」の設置	具体的に「カップルの聖地」等を創り、新しい都市戦略として発表してはどうか。伊予灘サービスエリアは、ロケーションの設備拡充などによりカップルに人気のようなので、松山城などをそうしてはどうか。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
1121 出会いからの環境整備	結婚の意味についての啓発	結婚の意味についての啓発や教育も必要。県ではデートDVの問題が顕在化しており、正しいおつきあいのしかたや、人と人、男女が尊重し合うということも併せて、プログラムをつくる必要がある。
1121 出会いからの環境整備	出会いの場となるセミナーの開催	出会いの場については、もっと本質的なセミナー等も開いてはどうか。自然と結婚したくなる万有引力のようなものが本来男女の間にあると思うので、それを強めてあげなければならない。
1122 妊娠・出産支援の充実	交付金制度継続の要望について	取組の柱: 安心して妊娠・出産を迎えるための環境整備 「方向性: 交付金制度を継続するよう国に要望する」ことは、市の施策として語るにはそぐわないのではないかな。
1212 愛着のある地域に住みつけられる環境づくり	文章表現について	「小項目: 愛着のある地域・・・」という表現は情緒的すぎるのではないかな。
1212 愛着のある地域に住みつけられる環境づくり	事態に直面する前の学習機会の設置	普通、事態に直面しなければ介護の情報は収集しない。予防措置的に、若い人向けに介護や子育てについて、一緒に教育する機会も必要ではないかな。
1212 愛着のある地域に住みつけられる環境づくり	介護関連企業の誘致	在宅支援が必要であれば、在宅サービスを提供する企業を積極的に誘致してはどうか。
1212 愛着のある地域に住みつけられる環境づくり	地域包括ケア体制の具体的な内容	「地域包括ケア体制の整備」という言葉だけでは、地域包括ケアセンターをつくらうというのか、それも含めた地域全体の地域力を上げようというのか、具体策が浮かんでこないのか、別の表現のほうがよい。
1221 障がい者支援の充実	文章表現について	取組の柱: 障がい者への理解促進 「方向性: 福祉施設からの退所者の受け皿の整備」は理解促進の内容とは言えないのではないかな。
1221 障がい者支援の充実	精神障がい者への理解不足	身体障がい者の手帳は松山市、精神障がい者は愛媛県が発行している関係で、松山市は精神障がいに対して理解が少ないのではないかな。
1222 障がい者の社会参加・雇用の促進	障がい者の余暇活動	障がい者に関連して、スポーツ活動や文化活動等の余暇活動については、積極的に機会をつくっていただきたい。
131 健康づくりの推進	心の健康	心の健康にはあまり触れられていないのではないかな。
1331 持続可能な救急医療体制の確立	「子育て」という大きな課題に関連する事項は束ねる	「安心できる小児救急医療体制の確立」という項目は、「医療体制の整備」に入れざるを得ないのかもしれないが、やはり少子化という問題意識は大きな課題であり、大きな課題については、関係する項目を集約して書いてはどうか。
21 災害等に強いまちをつくる	災害時の衛生対策	災害が起きたときの2次災害としての感染症の対策が書かれていないため、安心して暮らせる環境をつくるのではなく、2次災害の対策のところに衛生面の対策を詳しく盛り込んでいただきたい。
21 災害等に強いまちをつくる	災害時の衛生対策	災害後の衛生環境と飲料水の確保について、住民への広報はなされているか。
21 災害等に強いまちをつくる	海上ルートの確保	巨大地震が起こった場合などには陸路が寸断される可能性があり、海運は危機管理上大変重要であるが、近年ルートが減っているので、それを見直すという文言を入れてはどうか。
211 災害対策等の推進	「災害対策」より「防災対策」	災害が起こったとしても、事前に予測して備えておけば、危機は少なくなるという意味で、「災害対策」よりも「防災対策」とするほうが、事前の備え、予防という認識が強いように思うが、いかがかな。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
2111 危機管理体制の強化	避難場所の整備	避難場所の整備:「福祉避難所」の確保(協定)について明記してほしい。東日本大震災でも協定は結んでも実施の伴わない状況が多く、病状悪化や死亡例もみられた。体制整備も含めて必要。
2111 危機管理体制の強化	「備蓄物資」の配備の強化について	「備蓄物資」について、ライフラインの寸断を予測し、冬期では、暖房用燃料、自家発電、ガソリンなどの準備が必要である。東北では、オール電化の施設で停電による凍死、低体温等がみられている。介護サービス施設等の非常災害対策の義務付けも拡充されようとしており(県条例)、ぜひ参照してほしい。
2111 危機管理体制の強化	「備蓄物資」の配備の強化について	災害備蓄の医薬品備蓄も整えてはどうか。
2111 危機管理体制の強化	方向性と背景・根拠の関係について	方向性に「震災対策拠点の整備」「危機管理体制の整備」とあるが、抽象的で、「背景・根拠」との関係が見えない。
2112 市有施設の耐震化	防災上危険な建物の取り扱い	各施設の耐震化は進めなくてはならないが、例えば廃校になって使い道の無い古い校舎等の取り壊しも進めて行くべきではないか。住宅に隣接している所などは危険だと思う。
2112 市有施設の耐震化	道路・橋梁の耐震化	方向性に「重要度・緊急度を勘案した優先対策路線の順位設定」とあるが、「金がかかるのでやりたくはない」というニュアンスに見える。
2113 浸水対策・がけ崩れ対策の推進	がけ崩れ危険箇所の調査をすべき	大雨等によって、突然がけ崩れが起こることがある。がけ崩れの防止対策が施されているが、再度市内全般で危険な箇所がないか調査する必要がある。
2113 浸水対策・がけ崩れ対策の推進	国・県への「要望」という記載は総合計画になじむか	「国及び県に対し、一級河川及び二級河川の早期改修を要望」とあるが、「要望」が「総合計画」になじむか。
2121 災害発生時の対応の迅速化	対策本部運営の充実・強化	方向性に「平常時から関係機関との連携を強化することにより、災害時においても迅速な対応を実現」とあるが、この項目全体として、何を具体的にやるのかよくわからない。
2122 災害発生時の体制づくり	「災害ボランティアセンターとの連携」を明記	「国、県その他関係機関との連携強化」について、災害時の情報拠点として重要な役割を担う「災害ボランティアセンターとの連携」を明記してほしい。意識的に具体名を記すことで周知に役立つと思われる。
213 地域防災力の向上	市民の防災についての意識改革	「地域防災力の向上」を実現するためには、市民1人1人の意識改革が必須であり、特に大きな災害に見舞われていない松山市民にとっては、重要なポイントだと感じる。現状では、いくつかの「取組の柱」に分散されていて、市民各自がどうあるべきかが伝わってこない。
2131 自主防災の充実・強化	企業の防災力強化	関東では、帰宅難民者や地域住民の避難場所になる可能性を考え、食料の備蓄など、企業への新しいルールができた。松山市でもその点をお願いしたい。
2131 自主防災の充実・強化	企業の防災力強化	「企業防災力の充実強化」で会社も今の景気状況では防災まで手が回っていない状況。大企業なら会社の予算で防災グッズが配備されるが、地元の中小企業だと予算上そのような取り組みができる企業はまれである。予算も限りがあるが、取組企業に関し、なんらかの補助をしてみてもどうか。
2131 自主防災の充実・強化	企業の防災力強化	企業のBCPの作成が、結果、企業防災力の強化に繋がる。松山市は90%が中小企業だが、BCP作りを推進している。BCPと防災力のアップはイコールだという感覚でここに一項目挙げていただくとありがたい。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
2132 防火・防災意識の普及啓発	学校での防災教育について	学校教育の中でも、「すぐに逃げる」ということをもっと教えていただきたい。まずは「逃げる」ことが一番大事。市民の方に防衛能力を高めていただくことを大事にしていきたい。
2132 防火・防災意識の普及啓発	防災教育を取組の柱に	方向性にある「防災教育の実施」は、「取組の柱」に「防災教育の推進」として立ててもよい内容ではないか。
2221 犯罪のないまちづくりの推進	防犯カメラの設置について	防犯対策の推進について、ある程度人口の多い町は、防犯カメラの設置も必要かと思う。
2221 犯罪のないまちづくりの推進	防犯	二之丸側の一方通行の道路について、車の乗り入れ禁止の声があるようだが、車の通行がないと不審者の格好の場所となり、事件の発生の恐れがある。
2221 犯罪のないまちづくりの推進	防犯	笑顔のまちづくりは、犯罪者を増やさない地道な努力の一つであると思う。
2222 交通安全対策の推進	子どもの交通安全・交通マナー(特に自転車)	子どもを成人と同じ扱いをして、自分の身は自分で守る、ということを教育していくことが非常に大事。特に自転車に対する交通安全対策についても考えていかなければならない。
2222 交通安全対策の推進	子どもの交通安全・交通マナー(特に自転車)	自転車のマナー(特に子供)が悪い為、危険な思いをする事がある。自転車の事故を少しでも減らす為、免許証の交付が必要ではないか。また、年代別に自転車の乗り方を教育する場所があればと思う。
2223 消費者行政の推進	消費者相談窓口について	消費者相談の窓口について、更なるアピール、啓発に力を入れていただき、基金が終わってからも相談員のスキルアップを継続していただきたい。
2223 消費者行政の推進	消費者相談の充実について	相談体制の充実について、担当者のスキルアップだけでカバーすることができるのか。記述内容に不足を感じる。
2231 食の安全推進	食の安全、トレーサビリティについて	食の安全で、トレーサビリティの徹底についてもう少し触れた方が安心できるのではないか。
2232 生活衛生の向上	ロシア人墓地の位置づけ	「市営墓地及びロシア人墓地の適正な維持管理」とあるが、ロシア人墓地は「衛生」というよりも、「歴史・文化」的な観点で清掃活動などもされていると思うため、書きぶりを検討していただければと思う。
2232 生活衛生の向上	生活衛生における「ユスリカ」対策	「生活衛生」でユスリカの対策は川の整備も含まれるのではないかと思う。ユスリカは水辺に発生するが、川でかやなど生い繁っているところは特に発生しやすいのでその辺りの対策を検討してはどうか。
2233 感染症対策の推進	空港における感染症対策	松山には空港があり、また国際空港である。万が一の事態を考え緊急網などマニュアル整備も必要ではないか。
2241 水資源の開発	松山市としての水の確保について	「①新規水源の開発」を「新規水源の確保」に変えたほうがよい。
産業・交流全体	方向性を動かすための手段	10年間を目指すにあたっての方向性がお金を出すだけに見える。お金は方向性を具体的に動かすための手段であると捉えてはどうか。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
311 雇用・労働環境の整備	障がい者・高齢者の雇用	若年者や失業者を中心とする記載になっているが、障がい者・高齢者に関する記載があっても良いのではないか。分野別で既に記載のあるところだが、福祉的視点ではない表現により、全ての人にとって就労が大切な生活の営みであると感じられると思う(市民意見交換会のテーマ2 提案 11 多様な人材の採用の支援 に対応しうるのでは)。
311 雇用・就労環境の整備 312 事業所立地と雇用創出の推進	計画の革新さ	「3111 求職者の能力開発・向上」や「3112 の就労機会の拡充」で、レベルの高い取り組みを行っても「3113 労働環境の整備」レベルの取り組みだと、ミスマッチは拡大する。企業は旧態依然の体制のまま、レベルの低い環境、経営者の質の低さが目立つ。国家戦略室の HP には「ワークライフバランスの実現」や「同一労働同一賃金に向けた均等待遇の推進」、「女性活躍促進、障がい者の就労」が掲載されているが、これに限らず10年の計画には革新性に欠けるのではないか。
3112 就労機会の拡充 3121 企業誘致の推進と流出防止 3126 中小企業の振興	求職者を減らす予防対策	求職者を減らすという予防対策的なものがない。
3113 労働環境の整備	産業分野にも仕事と育児の両立に関する項目を追加	取組の柱: 地域における子育て支援サービスの充実 「方向性: 働きながら子どもを生み、育てやすい環境整備を進めます」という項目を、産業分野にも入れてほしい(育てやすい制度整備と雰囲気づくり)。
3121 企業誘致の推進と流出防止	企業誘致活動の推進	企業誘致活動の推進について ラフォーレ原宿の再開発を進めて頂き、安定した雇用の促進を行う。 また、地下(まつちかタウン)の空き店舗が解消されていない為、人通りが少ない。 好立地である為、何か空き店舗対策を考える必要がある。
3126 中小企業の振興	産学官連携	取組の柱: 相互連携の推進 産学官連携事業についても記述が必要ではないか。
3131 持続可能な農林水産業の推進	品種転換支援	農家の品種転換支援に、「温州みかん・伊予柑から、せとか・カラマンダリン等への転換」と書いているが、「紅まどんな」の名前を入れてもらいたい。
3131 持続可能な農林水産業の推進	有望品種の販路拡大について	農林水産課が有望品種としてライムやアボカドを薦めて植えたが、早い農家では果実が実る頃となっている。その売り先を個人に任せるとか、JAに頼るのか等を検討してはどうか。
3131 持続可能な農林水産業の推進	水資源の確保	水源林の整備について水資源確保は長期にわたるため、地域を明記して実行して行くべきではないか。
3211 まちの特性を生かした魅力づくり 3221 観光都市としての魅力向上	観光資源の一体的な紹介	観光産業振興全体について松山は歴史的にも気候的にも良いものが沢山ある。ただ、バラバラに点在している感じがしているのもっと一つにまとめたものにしてみるというのはいかがでしょうか。レトロ感で統一したり、オリジナルな観光マップを作るなど。(境港などは鬼太郎でグッズや街並みをつくり、NHKドラマなどと一緒に活性化している。島根では神話の国でパワースポット巡りなど人気がある。)
3212「ことば」文化の充実	愚陀佛庵の再建	三庵めぐりなどが考えられる愚陀佛庵の再建を構想に入れていただきたい。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
3212「ことば」文化の 充実	子規文学館と歴史博物館	松山市には歴史博物館と文学館の2つがあってよいと考えるが、子規記念博物館は、衣替えをして子規文学館としてはどうか。子規博は文学館とすることによって観光資源としてももっとアピールできると思う。
3213 プロスポーツの 推進	プロスポーツの誘致推進	プロスポーツの推進 プロ野球(ヤクルト)の秋季キャンプが継続して松山で行われている。 この、秋季キャンプは、子供たちが身近に「見る」ことで、勉強になり大変夢がある。 継続して、誘致をお願いしたい。 また、野球に限らず、マイナースポーツの誘致もあわせてお願いしたい。
3214 シティプロモー ションの推進	観光都市松山の PR 方法	全国に発送されるみかん箱に観光都市松山をPRする小さなパンフレットを入れてPRしてはどうか。
3214 シティプロモー ションの推進	シティプロモーションの推 進	シティプロモーションの推進 松山市の都市イメージは、全国に伝わっていない。 松山市といえば、「道後」のイメージがある、松山市全体の認知度を全国区にするには、四国4県で活動するのがなによりだと思う。
3214 シティプロモー ションの推進	全国への情報発信	松山市は、全国への情報発信が弱い。お隣の県のように「県名」を変えてまで、アピールとはいわないが、香川県はうまくやった。予算をかけなくてもアピールをする方法はある。
322 観光産業の振興	「松山の文化を広め、日本 文化を啓発する」(観光スロ ーガン)	「観光客の誘致」は大切だとは思いますが、それ以前に、理念としては、「松山の文化を広め、日本文化を啓発する」といったスローガンがほしい。結果として観光につながっていく。
3221 観光都市として の魅力向上	観光客の受入時間	松山城への観光客受け入れの駐車場について。観光客へのアピールはされているか。使用時間の夕刻5時15分での閉鎖は、夏季は特に早すぎるので、時間の延長が必要である。
3221 観光都市として の魅力向上	城山公園の整備拡充	観光イベント会場として城山公園(堀之内)の整備拡充を追加してはどうか。
3222 受入体制の整備	外国語表記の対応	外国語表記の拡充は以前からの検討課題で、あまり大きく進んでいない事項の一つ。インバウンドも視野にいれると、観光施設にとどまらず交通標識も含めて、少なくとも3カ国語程度は必要である。
3222 受入体制の整備	体験型観光	「体験型観光」は強力に進めるべく、強調すべきである。
3224 広域観光連携 の推進	サイクリングロードの整備	北条海岸沿いからしまなみ街道、香川、徳島、高知、南予を結ぶ四国一周サイクリングロードの整備をしてはどうか。
3311 身近な交通環境 の充実	駐車場の整備	広域からの集客を図る商業の振興で対策の一つとして駐車場の整備及び料金の格安化を図ることが必要ではないか。市外から来る人は車で来るが駐車場が不足している。
3311 身近な交通環境 の充実	良好な交通環境の整備 歩いて暮らせるまちづくり	良好な交通環境の整備 現在、花園町通り周辺で道路工事をしている。 歩いて暮らせる街作りは、賛成である。 バリアフリーを進めていくにあたり、体の不自由な方の意見を積極的に受け入れる必要がある。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
3312 公共交通機関の 利便性向上	3312 公共交通機関の利便性向上	移動コストを安くする、ということを是非考えてもらいたい。公共交通を無料にする位の政策をとってもらおうと、都心に出やすくなるため、まちに賑わいができる。また、車から公共交通にシフトすると、CO2の排出量も減るし、良いこと尽くめ。行政で予算を支出しなければいけないが、松山市全体としてみるとそれ以上のメリットがある。
3322 広域交通網の 充実	港湾周辺地域の活性化	取組の柱: まちづくり協議会などの地域団体への活動支援 「堀江航路廃止に伴い港周辺のにぎわいは喪失され人通りも年々減少する傾向にある。」とあるが、三津浜港及び松山観光港も同じ状況にある。にぎわい活性化問題は、堀江に留まらず海の玄関口の総合政策が必要と考える。空港港湾課との連携はもっと広く行うべきと考える。真の松山の海の玄関を一極集中しハブ港として機能強化すれば、海がもっとクローズアップされると思う。
3322 広域交通網の 充実	港周辺の環境整備	松山観光港のアクセス対策や、今後のクルーズ需要対策に備えた岸壁整備、離島活性化につながる航路対策が必要。
41 子どもたちの生きる 力を育む	いじめに関する記述について	現在問題になっているいじめを前面に出してまとめていただきたい。
4111 学校教育の推進	小項目の修正	小項目の名称を「教育実践の充実」にしてはどうか。
4111 学校教育の推進	取組の柱の修正	取組の柱: 自ら考え・行動する教育 名称を「自ら考え課題を解決する力の育成」にしてはどうか。
4111 学校教育の推進	方向性の修正	取組の柱: 自ら考え・行動する教育 方向性にある「いじめ問題に対して自ら考える活動を行う」を「・・・自ら考え行動する力を育てる」にしてはどうか。
4111 学校教育の推進	方向性の追加	取組の柱: 自ら考え・行動する教育 方向性に「学習指導等を通して日常生活に生きる学力を育てる」を追加してはどうか。
4111 学校教育の推進	情報教育の推進	取組の柱: 情報教育の充実 これからの10年間でもずっと推進していくことができるICTを活用した授業の推進や、メールやブログでのトラブルに対応した情報モラル教育の推進など、もっと明確に松山の良さを出せる方向性を示すべきである。
4111 学校教育の推進	学校での食育指導について	取組の柱: 学校給食の充実 背景・根拠に残食の現状と、これからの食育指導の推進を書いていただきたい。
4111 学校教育の推進	学校での食育指導について	学校給食から出される食品廃棄物のリサイクルのことについて記述されており、事実を書いておられるが、今後の課題として、食品廃棄物を出さない食育指導のようなことを書いていただきたい。
4111 学校教育の推進	学校保健安全法における「安全」	取組の柱: 学校における保健と安全の充実 学校保健法が学校保健安全法に改正されたが、安全の項目が入っていない。法律にある学校安全計画の策定や危険等発生時対処要領の作成について、教育委員会として指導助言するという項目を方向性に入れてほしい。
4111 学校教育の推進	方向性の修正	取組の柱: 学校における保健と安全の充実 方向性にある「保健室内の備品・消耗品を充実する。」を「学校の保健室を整備・充実させる。」に変更してはどうか。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
4113 教育環境の整備	地域人材を活用した体制の充実	取組の柱: 地域人材を活用した体制の充実 内容としては、通常の教育にうまく適応できない子どもやついていけない子ども、障がいのある子どもなど全般のサポートなのではないか。
4113 教育環境の整備	教育用コンピュータ	取組の柱: 教育用コンピュータの整備 コンピュータを使うにしても、何をを目指すのか。情報リテラシー教育であれば、コンピュータだけではなくメディアや色々なものを取り込んで、将来に向かってこのような教育をしたいという目標があるべきであり、教育環境の整備はその一部の手段として入ってくるのではないか。ビジョンをもったうえで整理していただきたい。
4113 教育環境の整備	方向性の修正	取組の柱: 学校の教材整備 方向性の「学校図書館の図書を整備する」を「学校図書館図書標準を達成する」にしてはどうか。
4113 教育環境の整備	方向性の修正	取組の柱: 多様な教育の振興 方向性の「経済的支援による多様な教育の振興を行う」の具体的な例示が必要。
4114 特別支援教育の充実	特別支援教育の流れ	特別支援教育については、教育だけではなく、母子保健、子育て支援センター等での発見から始まって、継続していくものだと思う。非常にさらっと書いてあるが、生まれて以降、教育の段階まで来るところを連動させたかたちで、どう取り組むかを明記していただきたい。
4114 特別支援教育の充実	方向性の追加	取組の柱: 特別な支援を要する子どもの学習環境整備 方向性に、「視覚障害支援のための教材整備」と「学習支援員の積極的な配置」を追加してはどうか。
412 青少年の健全育成	子どもの遊び場について	子どもの遊び場の整備の充実や、公民館などの子ども活動の充実など、学校教育以外での子どもの育ち場がないことは大問題だと思っている。のびやかに子どもが遊ぶ場がないということをもっと強調していただいてよいのではないか。
4121 地域教育力の向上	「地域」が指す範囲について	「地域教育力の向上」の「地域」という表現は、通常ではその地域の小学校などの「学区」であると認識されていると思われるが、松山市の青少年市民会議にも事業者が入られて頑張っておられるので、「社会全体での子ども育成の推進」という形にしたほうがわかりやすい。
4121 地域教育力の向上	方向性の修正	取組の柱: 相談・支援体制の充実 方向性にある「子どもに関する相談機能の集約化」の内容を具体的に、「市民とりわけ保護者等が相談したり、通報したりしやすい制度、窓口の充実」にしてはどうか。
4121 地域教育力の向上	スクールソーシャルワーカーの導入	取組の柱: 相談・支援体制の充実 スクールソーシャルワーカー(社会福祉士)の本格的な導入を図ってはどうか。不登校や問題行動、いじめ等は複雑で深刻な状況にあり、学校内だけで解決することは極めて困難になっている。家庭や地域あるいは関係機関等に出向き問題解決が必要とされる中、教員が担える範囲をはるかに超えていると言える。本格的に子どもの問題に取り組むために、専門家により対応することを目指すべきと考える。
4122 体験学習の促進	方向性の追加	取組の柱: 体験活動の担い手支援 方向性に「自然・社会体験活動を企画・推進する指導者の育成を支援する。」を追加してはどうか。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
421 生涯学習の推進	文化スポーツ振興財団への助言	文化スポーツ振興財団があり、まだ市からお金も人も出ているが、運営が他都市に比べると遅れている。なかなか新しい事業ができる体制にならない。「財団への支援の強化」など、もう少し新しい施策ができるような仕組みづくりに向けて助言をするようなことを書けないか。
4211 多様な学習機会の提供	生涯学習への参加機会の拡充	生涯学習の講座は、仕事をしている人では行きにくい時間帯のものが多く、就業者の方がもっと生涯学習に参加する機会を増やさなければならない。職業能力の開発にも連動する。また、企業が講師となる場をもつなど、企業にもっと生涯学習の推進に参画してもらいたい。
4211 多様な学習機会の提供 4421 文化芸術活動の推進及び支援	利用者ニーズを踏まえた施設サービスの検討	公民館や市民会館について、利用条件が利用者のニーズに合っていないところがあるため、ニーズに合わせて開館時間や予約の仕方を柔軟にするなど、少なくとも検討ぐらいはするというを盛り込んでいただきたい。
4212 生涯学習環境の整備	図書館づくりの方向性	取組の柱: 図書館資料の充実と利用環境の整備 ただ借りられる場所ではなく、テーマをもって資料を提供してもらえたり、電子媒体の資料が使えたり、ただ本を見るだけではなく、司書がいて、特定のテーマについて情報が手に入るような方法についても教えてもらえるという図書館づくりを考えていただきたい。
4221 地域スポーツ活動の活性化	生涯スポーツの推進	「健康づくりのための生涯スポーツの推進」という内容がほしい。
4221 地域スポーツ活動の活性化	障がい者スポーツへの対応	取組の柱: 障がい者のスポーツ活動の活性化 障がい者のスポーツ大会を開催するとあるが、どこで告知しているのかわからず、どこでやっているかわからない。障がい者スポーツを推進することも大事だが、みんなでやっというところが大事であり、区分けしては笑顔にはなれないのではないか。
4222 指導・支援体制の充実	国体終了後のスポーツ指導への支援	国体終了後、スポーツ選手強化の取り組みが減るのではないかと心配。国体が終わっても、スポーツ選手の支援や子どもたちの支援に谷間ができないようにしていただきたい。
4222 指導・支援体制の充実	走る練習ができる場の整備	松山市で走る練習できる場所を考えると、砥部には総合公園があるが少し遠い、中央公園にはフィールドはあるがトラックがない、堀之内の公園は一生懸命練習するところではない、野外活動センターは少し遠いといった状況であり、松山市にはそのような場所が少ない。石手川の河川敷はバスケットコート等の整備をしているが、土でとても走りやすいので、走る場所も少しずつ整備していただきたい。走ることはスポーツの基礎であり、お金もかからず走る練習ができ、自然に集まることができるような場所があったら、みんなで何かをやってみようということになるのではないか。
4222 指導・支援体制の充実	方向性における重点化	取組の柱: 児童生徒の体力向上に向けた取組 方向性に対し、現在やっていないものは何か？何を重点化して推進するのか？
4311 人権意識の醸成	小項目の修正	小項目の名称を「人権意識の啓発と醸成」に変更してはどうか。
4311 人権意識の醸成	方向性の修正	取組の柱: 総合的で効果的な推進体制等の確立 各方向性が抽象的すぎる。
4311 人権意識の醸成	犯罪を犯した人への立ち直り支援	犯罪を犯してしまった人に対しては立ち直り支援するなど、社会の中で受け入れられるような書きぶりがあればと思う。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
4312 平和意識の普及	小項目の修正	小項目の名称を「平和意識の啓発と醸成」に変更してはどうか。
4411 文化財の保存・活用	愚陀佛庵の復元	愚陀佛庵の復元については、方向性に一筆も記載がないのがとても残念。政治的、財政的な問題はあっても、これからの10年を考えると、やはり愚陀佛庵の復元については方向性に含めるべきだと思う。純粹に文化財として考えることが大事である。
4411 文化財の保存・活用	愚陀佛庵の復元	愚陀佛庵の復元について記載してほしい。
4411 文化財の保存・活用	松山城の国宝化	松山城の天守について、括弧書きで「現存天守」と書いていただきたい。また、12の天守の中で、基壇から上の高さは、姫路城、松本城、松江城に次いで、4位であり国宝化に向けた取り組みを追加していただきたい。
5111 生活道路の整備・維持管理	道路設備の手入れ	交差点のカーブミラーが老朽化により役割を果たしていない所が見受けられる。交通事故は、交差点でよく起こることがあり、カーブミラーの定期的な更新が必要。 また、道路の中央分離帯に生えている草で視界を塞がれる事があり、計画的な手入れが必要。
5112 住宅の供給促進	長寿命の住宅	福田政権時代に提唱された「200年住宅」という長持ちし環境にもよい、住宅をつくるという施策を盛り込む必要はないか。
5112 住宅の供給促進	空家対策	全国では、空家の増加が問題視されているが、松山市においてその対策に向けた観点が必要ではないか。
5212 公園緑地の整備	公園緑地整備に子どもの育成の視点を	小項目の「公園緑地の整備」において、「子どもの育成」という視点がほしい。
5221 市街地形成の推進	ラフォーレ跡地の開発	ラフォーレ原宿松山が閉館になり、郊外に人が流れ、松山の中心部が大変寂しくなった。また、若者が遊ぶ場所がなく、ますます人が、市外に流れており、早期に対策を打つ必要がある。 跡地の利用は、多々諸事情があると思うが、市の協力により早期に再開する必要がある。
5222 土地利用の誘導	地名改正の際の配慮について	住居表示の地名について。かつての地名を消すため地名改正がされた歴史もあるため、それをスムーズにやってしまうだけの文言ではなく、地名改正の時は気をつけるような一文が入ってもよいのではないか。
5311 ごみの減量・再使用・再生利用の推進	まつやま Re・再来館の活用について	市がもっと力を入れて、「まつやま Re・再来館」に小中学生をもっと連れてくるなどの方向付けをしていただけるとありがたい。中身のあり方を市民の方など外部の意見を入れて話し合えるシステムがあればいいと思う。
5312 ごみの適正処理の推進	廃棄物処理の際のインセンティブについて	廃棄物の処分に費用を払うのではなく、200円300円程度でもインセンティブがあれば、きちんと処理場にもってくるのではないか。 処理やパトロールにかかる費用とのバランスを考えれば、そちらの方が良い可能性もあるのではないか。
5312 ごみの適正処理の推進	不法投棄の防止について	「不法投棄」でマナーの悪い人がいる。川にゴミを投げ捨てる人もいた。川に草が繁り捨てやすい感じなのではないか。整備してキレイにしていれば捨てにくくなるのではないか。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
5332 低炭素社会の構築	「スマートコミュニティ」関連のカタカナ語について	「スマートコミュニティの構築」の部分は、「取組の柱」「方向性」「背景・根拠」に書かれていることはわかるようでわからないカタカナ用語の入った文章になっているため、素人でも理解できるように修正してはどうか。
5332 低炭素社会の構築	太陽光発電システムの導入目標の明記	太陽光発電システム等の導入促進に積極的に取り組んでいる。となっているが、5年後10年後どの位の普及を目指しているのか示した上で進めてはどうか。
5333 環境汚染の抑制	えひめAIの活用	美しいまち松山の実現をする一つとして、えひめAI(環境にやさしい、排水溝等の洗浄剤)の推進は出来ないか。市から原材料支給で5年余り使用してきたが、良かったと思う。地域の団体や事業者など多くの人が使用する事によって家庭廃水・河川等の浄化が出来ると思う。
61 市民参画を推進する	活動団体への支援について	「現状と課題」では、「団体への寄付の動きの活性化」とあるが、これを市が行うことは、市が直接支援しないといっているようなものではないか。
61 市民参画を推進する	男女共同参画について	女性登用より就業率のほうが重要である。また、男女共同参画社会実現の第一歩が市での女性登用というのは、寂しいのではないか。
6112 市民協働の推進	団体による活動の周知	県内の各地域で無料講座を開催しているが、地域によって団体の知名度に格差があり、協力的な回答を得られない場合がある。活動を周知していくことはなかなか難しい。
6112 市民協働の推進	NPO やボランティア団体への支援	ボランティアでやっている「いのちの電話」は、経済的にかなり窮しており、様々な方面に寄付の要望が出ている。自殺予防のために最前線で活動しているNPO やボランティア団体への支援を項目として挙げられないか。
6113 男女共同参画の推進	男女共同参画に関する内容を具体的に	「6113 男女共同参画の推進」は、小項目も取組の柱も「推進」となっており、よくわからない。「生活のあらゆる場面にて多様な選択ができる、ワークライフバランスの実現」などとしてはどうか。ここに限らず、「推進」という文言が多いとやる気が感じられない。
6121 市政参加機会の充実	学生版の総合計画会議の設置	取組の柱:市民の提言機会の充実 学生からの政策提案について、学生版の“総合計画会議”を作ってみてはどうか。市民参画の機会は、大学にも告知があるのに気付いていない。告知方法を工夫し、学生に限って募集すれば、やる気のある学生が集まるので、その会と審議会との内容をすりあわせてはどうか。
6121 市政参加機会の充実	市長へのわがまちメールの推進の周知を	「市長へのわがまちメール」は、市民が意見を直接発信出来るため、良い事業であると思う。ただ、市民がこの事業を知っているとは思えないので、周知する必要がある。
6211 効率的な行政を推進するための体制強化	「指定管理制度の適正化」の具体的な内容	「民間との役割分担」の「指定管理者制度導入施設の検討」について、「事業の委託範囲や発注方法などの適正化」とは、具体的にどのようなことを想定しているのかを書き込んでほしい。
6213 健全な財政運営	競輪の取扱	競輪をもっともっと頑張ってやろうということが書いてあるが、このような場所に大々的に出すことには若干の違和感がある。
6215 手続きの利便性の向上	手続き利便性の向上	最近スーパーや百貨店内で、土日でも手続きが簡単にできるようになっている。セキュリティなどいろいろな問題はあがるが、インターネット上でも手続きができればよいと思う。

基本計画案 施策体系該当箇所	キーワード	意見
6223 情報公開・個人情報保護の推進	地域福祉活動における個人情報取り扱い	方向性に示される内容から適正な運用がなされるため、特に問題のない点だと思うが、地域福祉、とりわけ民生委員の活動における報告などから、緊急時に情報を得られず早期対応が出来なかった事例を多く聞くため、この点も対策が組まれる流れが入っていると良い。
その他	「現状と課題」の文章について	「現状と課題」の文章が乱れている
その他	「方向性」の内容について	読めば読むほど「方向性」という言葉と、書かれている内容が一致しないように感じる。現在、「方向性」として書かれているものは、「取組項目」「取組内容」の方が近く「方向性」(どこに向かうのか、目指すのか)というイメージが持ちにくい。